

平成28年度第1回 笠松町地方創生総合戦略審議会 議事概要

日時	平成28年7月29日（金） 19:30～20:55
場所	笠松町役場 4階大会議室
出席の委員	岩井会長 岩村副会長 内藤委員 葛谷委員 岡田（悠）委員 岩田委員 森委員 樋口委員 久納委員 岡田（文）委員 汲田委員 （以上11名）
欠席の委員	
議事概要	

① 会長あいさつ

昨年10月の総合戦略策定に関しては、委員の皆さんにはご協力をいただき、答申することができたことに感謝申し上げます。

策定から半年が経過したが、外部環境が変化してきている。策定された総合戦略についてもPDCAサイクルによる見直しや、指標による目標管理が必要であり、重要になってくる。

本日は、平成27年度に実施したいいくつかの取り組みについて評価をいただくとともに、事業について皆さんのご意見をいただきたい。



② 町長あいさつ

総合戦略については、昨年委員の皆さんに審議をいただき、策定することができた。

本日は、平成27年度に国からの支援を受けて実施した事業について、ご意見をたまわり、PDCAサイクルにより、より効果的な事業・戦略としていきたい。委員の皆さんから忌憚のないご意見をいただきたい。

③ 笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について（諮問）

町長から会長へ笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について諮問



④ 審議（検討・質疑応答等）

[地方創生「平成27年度地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」事業の実績について]

（プレミアム商品券発行事業について）

- 小売店舗は大変活性化した。当初はルールが厳しくて、使い勝手が悪い商品券になるかと感じたが、発行が始まると、町民の方は1人10万円の枠を有効に利用していたように感じる。

（歴史未来館の魅力向上に関する事業について）

- アプリについては良いものであるが、決定的に認知度が低い。もっと積極的にPRするべき。
- 歴史未来館はリニューアルして1年になるが、歴史と未来がつながっていないように感じる。アプリについては、認知度が低いと感じる。また、企画展も個別では良いものの、それぞれのつながりが無い。まとめて相乗効果でひろがっていくと、効果的なものになると感じる。

- 今年度、名鉄ハイキングが開催されるが、その時にアプリを活用する予定はあるか。
→ ハイキングの経路に歴史未来館も含まれているので、積極的にPRを図ってきたい。

（子育て家庭の防災対策事業について）

- 学校や保育所は会社と違って、子どもや先生が毎年度変わっていくため、しつこいぐらい取り組んでいかないと、防災意識の一定レベルは保てない。継続して取り組んでいただきたい。
- 社会福祉協議会では、去年から災害ボランティア養成講座を開き、大人も防災に対し取り組んでいる。講座の受講者が小中学校の防災活動などに関われれば良い。

(歴史・文化・清流ネットワーク回廊推進事業について)

- レンタサイクルを利用した。街の中は(自動車が行っているため)怖くて利用できず、サイクリングロードのみ利用した。自転車をまち中に走らせるためには、何かハード面の整備が必要であると感じる。
レンタサイクルと歴史未来館のアプリをセットで展開できれば、それぞれがいきっていくように感じる。

[地方創生「加速化交付金及び推進交付金」事業について]

- 地方創生推進交付金にある、道路の環境調査は、どれくらいの期間でどのような調査を行うのか。
→ 現状の道路利用状況を調査し、自転車が走行しやすいルートを設定したいと考えている。
- 春まつりのように、自動車進入禁止にして、自転車と歩行者のみ通行可能にしてはどうか。全日の規制が難しいのであれば、時間を限って規制を行えば安全に走行できる。
- 交通規制や歩車分離、カラー舗装など、まちなかへ人を呼び込むために、色々な手立てを考えて事業を進めていただきたい。
- 公共交通機関が少なく、これから高齢化が進む笠松町は、高齢者の移動手段を考えていかなければいけない。